



令和7(2025)年度11月号 檜原市立真菅北小学校 令和7年11月5日

# 真菅北だより

学校教育目標 自ら学び、考え、判断して行動できる心豊かでたくましい児童の育成

## いっしょに やりきる ～心を一つに、未来へつなぐ力～

先日のスポーツフェスティバルでは、たくさんの温かいご声援をいただき、ありがとうございました。前日の雨から一転、晴れ間がのぞく空の下、子どもたちの笑顔と真剣なまなざしが、校庭いっぱいに広がりました。今年のテーマは「いっしょに」「やりきる」。仲間とともに力を合わせ、最後まであきらめずにやりとげることを目標に、一人ひとりが自分の精一杯を出し切りました。

練習では「どうすればみんなが気持ちよくできるか」「力を発揮することができるか」を考え、みんなで協力しながら前へ進んでいく姿が見られました。バトンをつなぐ手の中には、努力と信頼、そして「いっしょに頑張ろう」という思いが込められていました。

当日、全力で走る姿、友だちを応援する声、——どれもが心を打ちました。結果だけではなく、「やりきった」という達成感が子どもたちの胸に残ったことだと思います。うまくいったことも、思いどおりにならなかつたことも、すべてが次への力になります。私たちはこの経験を通して、「自分を信じて挑戦する力」「仲間と協力する力」「最後までやりぬく力」を育てたいと願っています。

また、運営や準備の面で活躍した高学年の子どもたちの姿も立派でした。開会式・閉会式の進行、準備、アナウンス、下級生たちのお世話など、それぞれが責任をもって動き、下級生を支える姿は頼もしい学校のリーダーでした。陰で支えるその姿があったからこそ、全校みんなが安心して力を発揮できました。高学年の子どもたちには、心から拍手を送りたいと思います。

スポーツフェスティバルは、勝ち負けを競う場ではなく、「みんなでつくる学びの時間」です。ひとりでは味わえない喜び、仲間とだからこそ乗り越えられる壁、支えあうことの大切さ——それらを体いっぱいに感じた子どもたちは、またひとまわり大きく成長しました。機会を与えられた子どもたちは、私たちが思っている以上の力を発揮します。これからも子どもたちが何事にも「やりきる」力を身につけていけるよう、学校生活の中でたくさんの場を作っていくたいと思います。



## 学校のキャラクターが決まりました！

児童会活動で学校の「議題箱」を設置しています。全校みんなで考えたいことや、やってみたいことがあれば誰でも紙に書いて議題箱に入れることができます。今回取り上げられた議題は『学校のキャラクターを作りたい』。早速全校にお知らせしてキャラクターを募集します。1年生から6年生まで工夫を凝らした個性豊かなキャラクターが箱いっぱい集まりました。最終的に全校投票で決定したのは「ますがット」。みんながひとつになって助け合い、仲よくできる真菅北小学校になってほしいという思いが込められています。これからいろんな場面でますがットと一緒に盛り上がっていくのが楽しみです。

※「ますがット」という名前も全校募集&投票で決まりました♪

